



鎌倉日和® Vol.11

発行日：2016年 初秋
編集 / 将星国際特許事務所

つばやき～事務所に～ 鎌倉日和はいつも、鎌倉で活躍する企業様とブランドの商標ご紹介をさせていただいております。が、将星国際特許事務所、実は特許のお仕事もしています。今回は鎌倉日和番外編、特許のお話です。

IoTという言葉が最近よく耳にしませんか。今回はIoTの技術にスポットを当て、
①IoTとITって同じなの？ ②IoTって便利なの？ ③IoT、うちの商売にも関係あるの？
④IoTの特許と取るとどうなるの？ 4つのお話をお送りします。

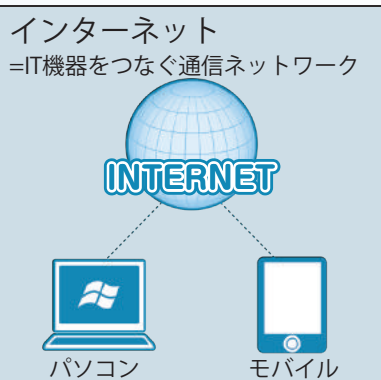
①IoTとITって同じなの？

最近よく耳にするIoTという技術。経済産業省も積極的な推進と支援を開始しました。今年もIoTの補助金制度もとても充実しています。でもIoTって何か、あまり良く分かりませんよね。

そもそもIoTって、ITと同じじゃないの？ 答えはNoです。ITは、Information Technologyの略で、「情報技術」のこと。情報を扱う技術のことで、パソコンやソフトウェアを指します。(インターネットの略ではありません。)



また一方、IoTはInternet of Thingsの略。Things=モノという意味ですので、IoTは「モノのインターネット」ともいわれます。



IoTは、モノがインターネットにつながることで情報交換をし、新たなサービスにつなげる技術のことです。モノとは、パソコンやスマホなどの通信機器だけでなく、自動車や家電、ドア、窓、机、植物、動物など、あらゆるモノが対象です。

今まで繋がっていなかった様々なモノどうしが繋がることで、情報が得られ、莫大な価値が生まれる点が新しいのです。

IoT= インターネットを通して、あらゆるモノとつながることのできる新しい通信技術



②IoTって便利なの？

「あらゆるモノがインターネットに接続することは分かったけど、そうすることで何がいの？」という疑問があると思います。

実はIoTは第4次産業革命を生み出すともいわれ、世界各国で注目されています。

これまでは人がIT機器を操作し、インターネットにつながる世界でした。IoTはモノ自体にセンサが組み込まれ、直接つながります。組み合わせはモノと人でも、モノとモノでも良いので使い方は無限大。今までできなかった新しいサービスが生まれます。ちょっと便利になるとか、ちょっと安くなるという「進歩」とは違い、IoTの目指すものは「イノベーション＝革新」。価格面でいえば、1/100の衝撃を生み出すことも可能なんだそうです！

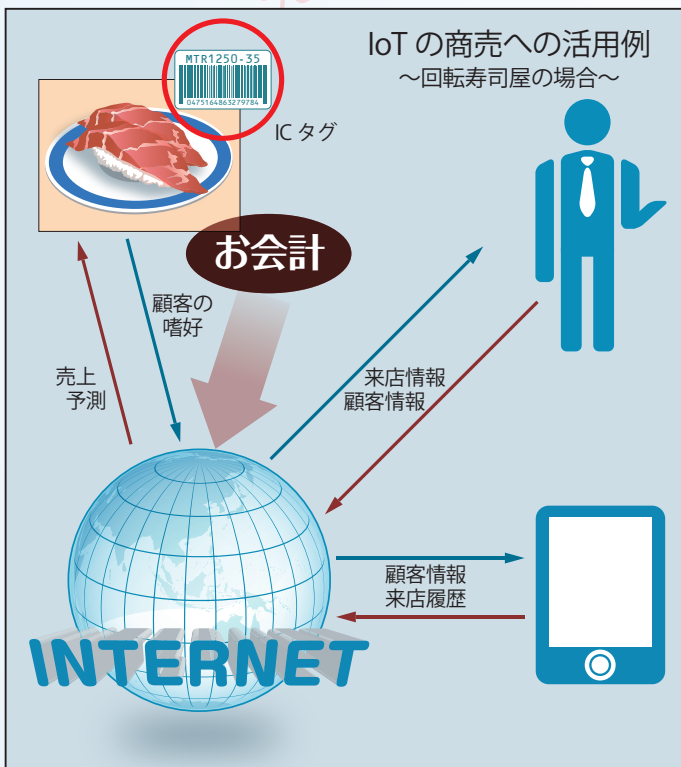


③IoT、うち商売にも関係あるの？

IoT がもたらすイノベーション、、、といっても、実際の商売とあまり紐付かないような気がしますね。そこで一つの例を挙げてみましょう。

最近回転寿司屋の人气が上がり、たくさんの店舗が並ぶようになりました。数ある回転寿司屋の社長の中から一人、ちょっと発明好きな人が現れました。

この社長、時間が過ぎた寿司を管理するために皿に IC タグをつけて管理することを思いつきました。せつかく IC タグがあるで、会計も IC タグを読み取ることで済ませられるようにしてみました。会計は明朗、正確になり、店員の仕事の量が減りました。



寿司のレーンにもセンサを取り付け、通過する寿司の数を数えるようにしてみました。時間毎、季節毎に人気のあるネタが分かるようになりました。そこでお客様の情報も一緒に管理するようにしてみました。入店時にお客様の性別、年齢、人数を入力して、実際に食べられる寿司のネタや数のデータをインターネット上で管理、集計してみました。会員登録してもらえば、更に正確な家族構成が分かります。データが蓄積されていくにつれて、お客様が入店してから帰るまで、食べられるであろう寿司の量やネタを予測することが可能になりました。

するとどうでしょうか。廃棄する寿司の量が減ります。お客様に寿司が届くまで待たせる時間が減ります。少ない店員でも、お客様のニーズに正確に応えることができるようになります。この結果、原料費・人件費の削減が可能となり、寿司の単価を他店の数分の1に抑えることが可能になります。また顧客の満足度も上がり、他店との差別化が生まれ、商売の良い循環が生まれます。

この例は「寿司」や「人」をインターネットにつなげ、情報交換をした IoT の事例といえます。思い当たる回転寿司屋がありませんか。

自分の業界では幸いにもまだ IoT を取り入れている会社がないかもしれません。しかし、この回転寿司屋の社長のような人物が、同じ業界に現れたらどうでしょうか。あるいは自分が、この社長のようにいち早く IoT を取り入れることができたらどうでしょうか。



IoT はあなたの業界にも、今までにない「革新」を起こす可能性を十分に秘めているのです。

④IoT 特許を取るとどうなるの？

IoT も技術の一つですから、特許で保護することができます。IoT で特に特許が魅力的なのは、保護を超えた利益の独占につながるからです。

いち早く IoT 特許を取得すると莫大な利益を生み出す可能性があるということです。

IoT は我が国の中心政策にも位置づけられており、補助金制度などが充実している一方で、まだまだ未開拓な分野です。

アイデアはふとした瞬間に浮かびます。あんなこといいな、できたら便利だな、、、を実現するのが IoT。いつも楽しいアイデアを考えていたら、それがあなたのビジネスに結びつくかもしれませんね！